

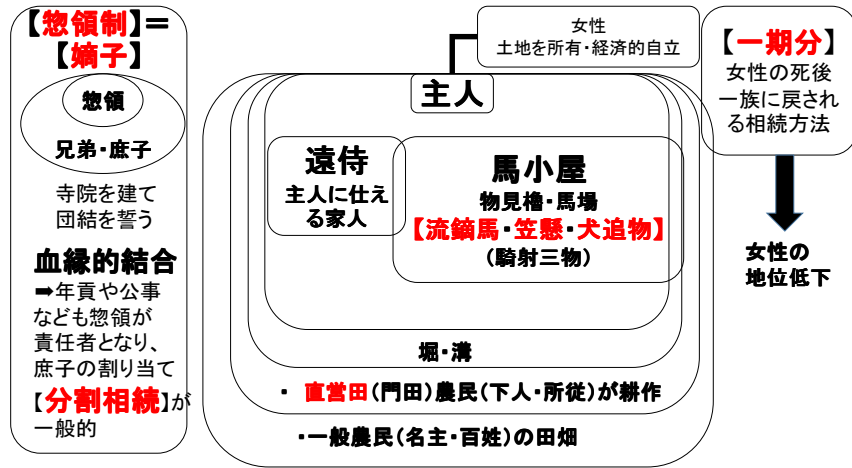
# 10 武士団の成立・農村の復興など

## 三入試の極意 鎌倉と室町の比較で学ぶ経済と社会

- ☆ **鎌倉** 農業… 二毛作 開始 (畿内・西国) 裏作は 麦 ⇔ 三毛作 開始、二毛作普及。  
裏作⇒麦、そば
- ☆ **室町** 商品作物栽培…【楮】(和紙)【荏胡麻】(灯油)【藍】(染料)  
牛馬糞 の進展 (←『松崎天神縁起絵巻』)  
☆ 肥料… 刈敷、草木灰 ⇒ 刈敷、草木灰、下肥  
☆ 定期市… 三斎市 (月3回) ⇔【六斎市】(応仁の乱後)  
※ 備前国福岡市 (岡山県) (←『一遍上人絵伝』) は絶対!  
☆ 常設店… 見世棚 登場 ⇒ 見世棚増加  
☆ 交通要地… 問丸 = 貸倉庫、委託販売 ⇔ 問屋 = 卸売  
☆ 陸上運送 ⇒ 馬借、車借  
(近江坂本の馬借一揆→正長の土一揆)  
☆ 金融業者… 借上 ⇔ 土倉、酒屋  
(高利貸し)  
☆ 貨幣… 宋銭 ⇔ 明銭 (永楽通宝)  
☆ 遠隔地の決済… 為替 ⇒ 為替普及

### 惣領制と分割相続

御家人は武士の一門・一家の長である **惣領** を中心に、**庶子** (嫡子以外の子) が率いられていた。これを **惣領制** という。惣領は、先祖の氏神祭祀・番役貢納の割り当て、貢納の一括納入などを行いながら、一族の長として幕府と主従関係を結んだ。鎌倉時代の相続法は、この惣領を中心にして庶子にも財産を相続させる **分割相続** が一般的であったが、鎌倉末期になると分割相続による所領の細分化で武士の窮乏化が進んだため、**単独相続** が行われるようになった。

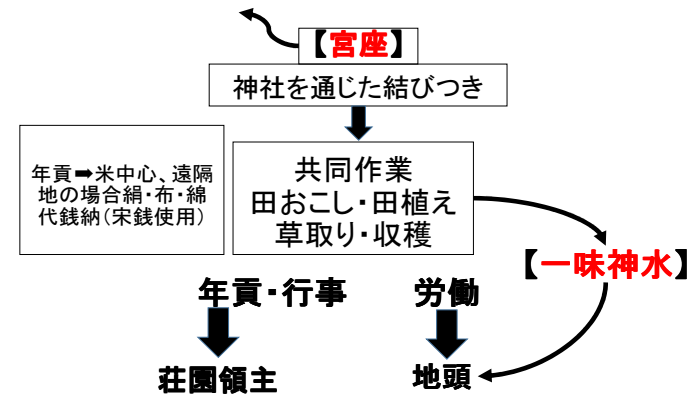


### 惣領制 正誤問題

- 惣領は、一族内の家ごとに、長男がなるのが通常であった。
- 鎌倉時代の庶子は、惣領の指揮にしたがって幕府の御家人役を勤めた。家は嫡子である【惣領】によって指揮・統率され、惣領は兄弟や庶子をまとめ、一族や周辺の武士団と婚姻関係でつながりを保ち、勢力の維持・拡大を図った。

### 武士の生活 リカバリーシート

【館】をかまえ、周囲には堀や溝を張り巡らす  
年貢・公事のかからない直営地を持つ⇒【**佃**】【**門田**】



### 武士の荘園戦略

守護の権限、地頭の荘園侵略は中世の政治史・社会経済史のかなめである。

### 武士の荘園戦略 平11一追 正誤問題

- 武士と荘園領主に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。
- ① 地頭の所領は東国に限定されていたため、地頭と荘園領主の紛争が西国の荘園で起こることはなかった。
  - ② 地頭と荘園領主の紛争を解決するために、荘園の土地を分割する下地中分が行われることもあった。
  - ③ 荘園領主のなかには、地頭請けによって一定額の収入を確保しようとするものもいた。
  - ④ 百姓が地頭の非法を訴えた文書を、荘園領主に提出することもあった。
- 正解⇒①東国に限定されない。

中世の荘園 平 13-本

耕地を名に編成して公事や年貢の賦課単位とし、名主が納税の責任を負う方式について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 水はけの悪い湿田は佃と呼ばれ、その多くは弱小農民の自作地であった。
- ② 加徴米とは、公領に賦課された税の総称である。
- ③ 鎌倉時代には、荘園領主への年貢を、現物の代わりに貨幣で納める銭納も行われた。
- ④ 名主のほとんどは、南北朝の動乱にまきこまれて没落した。

正解⇒佃は荘園領主や荘官・地頭が直接経営する田畑、土地の特徴ではない。②加徴米とは、公領に賦課された税の総称である。名主の中には地侍になるもの、小作人・下人から名主の上昇する者もあった。正解は③

正誤問題の極意

□

Pain is inevitable Suffering is optional

トウ（地頭）ノキヤウシヤウ（京上）、アルイワチカフ（近夫）トマウシ（申し）、・・・」これで、阿テ河荘民の訴状であり、鎌倉時代の地頭のことを記したものと分かれば可。強いて言えば「なぜチトウ（地頭）はキヤウシヤウ（京上）するのか」という問題があった。もちろん、京都大番役を勤めるためである。なお、これは紀伊国の阿テ河荘民が地頭の湯浅氏の非法を荘園領主の高野山へ訴えたものである。

武家政権の形成 2011-本

源頼朝による武家政権の形成について述べた文として、誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 御家人を諸国の守護や荘園・公領の地頭とし、東国以外にも支配を広げた。
- ② 朝廷を監視するために、京都に六波羅探題をおいた。
- ③ 御家人を統率する侍所を設置し、和田義盛を長官に任じた。
- ④ 源義経らを用いて平氏を壇の浦に滅亡させた。

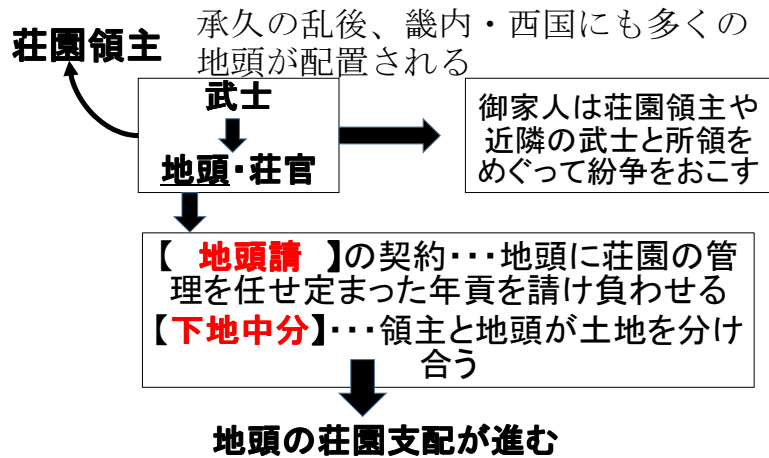
正解⇒②六波羅探題を置いたのは承久の乱後のこと。

鎌倉時代の地頭 2009-本

鎌倉時代の地頭について述べた文として正しいものを、次の1～4のうちから一つ選べ。

- 1. 地頭は全国の公領のみに置かれた。
- 2. 地頭の権限は、大犯三カ条とよばれた。
- 3. 地頭の収益を保障するため、頼朝は新補率法を定めた。
- 4. 地頭は、年貢徴収・納入や土地管理・治安維持に当たった。

正解⇒4



地頭の悪政 2003-本

地頭の悪政について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 弾正台は、地頭の悪政を取り締まるため、朝廷が設置したものである。
- ② 尾張国郡司百姓等解（文）は、地頭の悪政を列挙して、その罷免を求めたものである。
- ③ 二条河原落書は、地頭の悪政を鎌倉幕府に訴えたものである。
- ④ 紀伊国阿氏河荘民の訴状は、地頭の悪政を荘園領主に訴えたものである。

正解⇒④「阿テ河ノ上村百姓ラツシテ言上・ランサイモク（御材木）ノコト。アルイワチ

